



川内小学校だより

ゆずり葉

第10号 令和7年12月15日



新年のよいスタートを切るために！

12月も終盤を迎え、2学期のまとめの時期となりました。行事の多い2学期でしたが、子どもたち一人一人が様々な体験を積み重ね、成長できたことと思います。また、先日は学校評価へのご協力をいただきありがとうございました。現在、結果を分析し今後の改善策等を協議中です。詳細は年が明けて準備が整い次第お伝えします。

まもなく冬休みを迎えますが、安全に心がけ、規則正しい生活ができるよう、ご家庭でも引き続き声かけをよろしく願います。

今回は、年末年始の冬休みだからこそできる子どもたちへの教育や学期末の行事等についてご紹介します。

1 1年を振り返り新年の目標を立てる

○ 通知表を活用して振り返る！

12/24に子どもたちは通知表を持ち帰ります。通知表を子どもたちを叱る道具にせず、ぜひ、子どもたちの努力を振り返り、認め励ます道具としてお使いください。「がんばったね。」よいところを見つけた上での保護者の一言が次へのやる気や自主勉強への意欲を育てます。その子の将来の職業選択につながるかもしれません。また、通知表には次へ向けての課題も潜んでいます。通知表をもとに振り返り、次は何を頑張ればいいのか目標をもたせられるといいですね！

○ キャリアパスポートを活用して新年の目標を立てる！

「キャリアパスポート」も2学期末に配付されます。(配付済みの学年もあり)

「キャリア・パスポート」とは、子どもたちが「自らの学習状況やキャリア形成を見通したり振り返ったりしながら、自身の変容や成長を自己評価できるよう工夫されたファイル」です。今回は、2学期最初に立てた目標に対してのお子さんの振り返りと、来学期への自分へのメッセージが記入されています。

キャリアパスポートに記載されたお子さんの2学期の振り返りをぜひご覧ください。そして、お子さんがキャリアパスポートに記入したことについて、下の欄に励ましのメッセージをお願いいたします。



2 家族の一員としての役割を与える



冬休みは、家族の一員としての役割を与える絶好のチャンスです。ミニお楽しみ会の計画・準備、年末の大掃除、お正月を迎えるための計画・準備等、子どもたちも一緒にできることがたくさんあります。

「ありがとう。」「助かるよ。」子どもたちが親から言われてうれしい言葉です。「ありがとう。」と「助かるよ。」は似た言葉ですが、お手伝いをしたときに「偉いね。」と言われるより、「助かるよ。」と言われた方が子どもたちはうれしいそうです。「大好きなおうちの人の役に立っている」と実感できるからです。こうした言葉かけによって、子どもたちの達成感や自己肯定感も高まっています。

3 金銭について考えさせる

冬休みは、子どもたちに金銭について考えさせるチャンスです。お正月には、お年玉をもらえるからです。今までずっと欲しかったものを買ってもよし、貯金してもよし。ただ、必要のないものを買ったり、無計画に遣ったりしていつの間にかお金がなくなってしまうことは避けたいものです。保護者の皆様が働き、かつ親戚等とお付き合いをしているからこそもらえるお年玉です。勤労によって得られるお金の尊さ、お金で必要なものを買うことによって得られる幸せ、貯金することによって得られる今後への安心感等、お金について、考えさせるよい機会だと思います。



※裏面に続く

4 会った方に対するあいさつ等



この年末年始は、親戚の人等と顔を合わせる機会が増えることと思います。そんな時は礼儀を教える絶好のチャンスです。また、お子さんが礼儀ができているかどうかを確認する絶好のチャンスでもあります。

○あいさつ(こんにちは。おじゃまします。いただきます。ごちそうさま。

おめでとうございます。おじゃましました。おやすみなさい...等)

○返事(短く、明るく、はい。)

○ありがとう(していただいたことへの感謝)

このようなことが当たり前に行けるといいですね。

5 その他できること

この冬休みは、学校の勉強以外のことも体験し・獲得するチャンスです。以下のことは、お子さんはできますか？

○ぞうきんを絞る、 ○リボン結び、 ○爪切り、

○金づちやドライバーを使う、○掃除機や洗濯機を使う、

○トイレットペーパーをセットする、

○コンロを使ってお湯を沸かす。ミルクティーや砂糖等、適量を入れ、スプーンで適温になるまでかき混ぜる

○ナイフや包丁で果物等の皮をむく、

○簡単なおかずを加熱して調理する

上記のことは、ご家庭の状況や子どもたちの年齢によっても異なりますが、お家の人が見ているところで安全に行えるといいですね。



今年もお世話になりました(感謝集会の復活)



11月21日(金)に感謝集会を行いました。ここ数年の感謝集会は、コロナの影響で対面ではなくビデオ放送で行っていたのですが、お世話になっている方への感謝は直接伝えていきたいという思いから、対面形式での感謝集会が復活しました。

当日は、日ごろから子どもたちがお世話になっている地域の皆様30名以上の方が体育館に足を運んでくださいました。子どもたちが書いたお礼の手紙を手渡した後、全校で「ありがとうの花」を心をこめて歌いました。子どもたちの気持ちが伝わったのか、地域の方の中には感極まって喜んでくださる方もいらっしゃり、改めて対面の良さを実感する機会となりました。

思いやりの心が引き継がれるおもちゃ遊び！

11月6日(木)に2年生が1年生を招待して、生活科で作った「うごくうごく わたしのおもちゃ」で一緒に遊びました。2年生は楽しく遊んでもらうために、おもちゃを作り直したり、説明の練習をしたりと頑張りました。そのかいあって、1年生は2年生が作ったおもちゃに興味津々で、目を輝かせながら遊んでいました。

そして今度は12月3日(水)に1年生が来年度入学する保育園児を招いて「おもちゃまつり」を行いました。1年生も懐かしい先生や友達に楽しく遊んでもらおうと張り切って準備を進めました。おもちゃを通して、自然と笑顔が溢れ、とても明るく、楽しい雰囲気に包まれました。

こうした活動を通して、お互いに助け合うことの大切さや、思いやりの心を育むことができたと思います。人権週間の間、全学年で人権集会を行ったり人権ビデオを視聴したりしてきましたが、生活科等の通常の活動の中でも上級生から下級生に思いやりの心が引き継がれているのを見て嬉しくなりました。

